



NPO 法人マザーズサポーター協会の活動に興味があり、情報がほしいという皆さんの声を反映して発行しているニュースレターも今回で第3号になりました。

いつも納得する「今」を生きるために、今後もお役に立てる情報を発信していきます。

〈大岡裁きと「自立」・・・〉

寒さも少し緩み、桃の花もあちこちで咲き始め、春がもうすぐそこまで来ているようですね。

春は、卒業・入園・入学・進級・就職・転勤等々で、大人も子どもも未知の世界に色々な思いを馳せ、期待に胸を膨らませたり少し不安になったりしますね。

私の活動の一つでもある子どものための自由表現のアトリエでも、この季節になると「空を飛ぶモチーフ」・・・飛行機・鳥・ロケット etc. ...がたくさん表れます。これはとりもなおさず、子どもたちが自分の環境の変化を肌で感じて、自身を「空を飛ぶ」ものとして表した、新しい世界に向かう心の表現です。

春は私たちにとって節目の時期ですね。

そしてやってきた新しい環境や人間関係にうまく馴染めればいいのだけれど、どこに行っても一つや二つはトラブルの種は落ちているもので・・・些細なことで喧嘩や言い争いになったり、また直接は関係なくてもそのような状況に怯えたり、と予測不能なことが起こります。

そんな時に、親・先生・上司・関わる人としてどのように対処すればよいのかを「自立」の視点からお伝えします。

①まず「裁く人」にならない

問題の解決者は私たちではありません。その出来事をどう判断し、どのように対処したいかを決めるのは当の本人です。大岡越前の名裁きの一つ「三方一両損」のように、みんなが納得する裁きでその場を納めるのは一見とても良いことのように思えます。が、よく考えると、それでは何か問題が起こるたびに誰かに裁いてもらわなければ解決できないということになりかねません。

つまり私たちが判断を下して解決することは、「裁いてくれるのを待つ人」を作り出す可能性があるのです。

なので、まずは「判断する」立場から降りることが大切です。

②事実と感情を切り離して話を聞く

その上で話を聞いていきますが、トラブルの当事者は誰でも自分のことをわかってもらおうと状況や感情をごちゃ混ぜにして話をします。それに巻き込まれてしまうと「事実」が見えなくなってしまうのです。

たとえば、「Aが思いっきり叩いた」とか「Bが意地悪をして仲間に入れてくれなかった」という話の「事実」は「Aが叩いた」「Bが仲間に入れてくれなかった」ということです。「思いっきり」とか「意地悪をして」というのはあくまでも受けた側の主観であって「事実」ではありません。話を聞く時は、その人の気持ちを尊重しながらも「事実」と「感情・見方」をしっかりと切り分けて聞く必要があります。

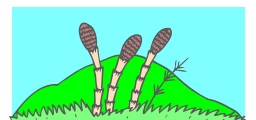
③関われるのは話をしている本人だけ

また話をしている人は多くの場合、「Aが先に手を出したのだから謝らせて欲しい」などと、私たちに「相手を正してほしい」というメッセージを發します。

が、私たちが直接トラブルの現場に居合わせたのでなければ本当の状況というのはわからないし、そもそも相手が何をどのように考えているのかわからないので、話し手の求めに応じて相手に話を聞いたり、「謝らせる」というのはとてもおかしな話なのです。

私たちにできることは、目の前で話をしている人が「何に困っているのか」それを「どうしたいと思っているのか」をその本人に自覚してもらい、そのために「自分に何ができるか」を考えてもらうことしかないのです。感情的になっている人にはなかなか大変な関わりかもしれませんが、これが「自立」を促す関わりなのです。大人の世界でもシチュエーションは違えど同じようなことは起こりますよね。人の悩みは大人も子どもも同じ。大岡裁きは「自立」にあらず・・・

文責 山本伸子





「NPO 法人マザーズサポーター協会 ニュースレター 第3号

お読みいただきありがとうございました。

過去に情報提供のご希望があったみなさまに、送付させていただいています。

今後も更に内容を充実させ、育てる側に役に立つ「自立型支援方法」の情報やイベントのご案内などを発信させていただきます。

不定期の季刊紙として HP や書籍では読めない情報を郵送でお届けできるように、メンバーで頑張っていきます。もしご不要の場合は、お手数ですが下記のメッセージシートにお名前を明記の上「不要」とご記入いただき FAX を頂けたらありがたいです。どうぞよろしく願いいたします。

ご意見、ご感想などもいただけたら、今後に反映していきたいと思います。

いつでもお待ちしております。

感想

HP などに掲載 (イニシャルやペンネーム) させていただく場合がありますので、好きなお名前をお聞かせ下さい。

お名前

ありがとうございました！！

～信頼関係を作り、自立と当事者意識、考える力を育てる「自立型支援方法」～

<http://m-supporter.com>

FAX : 078-731-0615

NPO 法人マザーズサポーター協会

